



富士吉田市 環境政策課 環境政策担当
主事

土橋 良太

Ryota Dobashi



私は、平成30年度に富士吉田市役所に採用され、産業観光部環境政策課に配属されました。

主に、自然公園法に関する届出・相談業務や環境啓発活動、自治会・企業の美化清掃活動の支援業務等を担当しています。

本市は、南部の約45パーセントが国立公園となっており、自然環境・景観に恵まれた風光明媚なまちです。

その優れた自然環境を保護するとともに、利用の促進を図るためにも自然公園法に関する業務がとても重要になっています。

事業者等から建築物や工作物等の相談を多く受けますが、自然環境を保護する立場で対応する一方で、市の発展のために柔軟な対応が求められることもあり、開発と保全の調和を図りながら正確かつ迅速に答えられるよう知識や経験を増やすための努力を重ねています。

また、世界遺産富士山をはじめとする優れた自然を守り、後世に残すためにも環境啓発活動や美化活動が非常に重要になります。

世界遺産である富士山の麓はきれいなまちだと思っただけことは、市民・事業者・行政の責務であると同時に観光客などの来訪者への「おもてなし」につながることから、今後も継続して環境啓発や美化清掃活動の支援に力を入れていきたいと考えています。

まだまだ覚えることはたくさんありますが、多くのことを学び、環境にも市民にも優しい職員になれるよう日々精進していきたいと思っています。

市町村職員



都留市 市民部市民課 市民窓口担当
主事

天野 麻由

Mayu Amano



私は平成30年4月に都留市の職員として採用され、市民課市民窓口担当へ配属となりました。現在は、主に証明発行、住民異動や戸籍届出などに関わる業務を担当しています。

配属当初は担当業務に加え、窓口での庁舎の案内や他課の業務に関する問い合わせへの対応など、わからないことだらけで戸惑うことも多くありました。しかし、周りの先輩方の丁寧な指導により、徐々に窓口業務にも慣れ、担当できる業務も増えてきました。

毎日市民の方と接するなかで、傾聴の姿勢の大切さを改めて実感しています。窓口に来る方のなかには、手続きが複雑で何が必要かわからない、窓口に来ること自体が初めてでどんな手続きがあるのかわからないなど、不安な気持ちを抱えている方もいます。まだまだ未熟ではありますが、窓口で上手くコミュニケーションがとれ、笑顔で帰っていただけたときにはとてもやりがいを感じています。今後も傾聴スキルの向上を目指しながら、常に市民が何を求めているのかを的確に理解し、スムーズかつ信頼される窓口対応に努めていきたいと考えています。



鳴沢村教育委員会 教育課 社会体育係
主事

渡邊 龍
Ryu Watanabe



私は平成30年度に鳴沢村役場に採用され、教育委員会の社会体育担当に配属となりました。村のスポーツ振興に携わっています。

業務内容は多岐に渡り、住民の体力づくりのためのスポーツ教室の開催、体育協会やスポーツ少年団、スポーツ推進委員会等団体の事務局や体育施設の整備や維持管理。9月には10チーム対抗で10種目の競技を行う、村民体育祭りを運動の機会作りと地域交流と連帯感の熟成を目的に開催します。

また一番大きな仕事として、今年で第10回を迎える定員3000名のマラソン大会「富士・鳴沢紅葉ロードレース大会」の企画・運営を行っています。大会運営関係者総勢500名と4月から連絡調整を行い、10月の開催に向け入念に準備を進めています。

配属当初は、ただ目の前の仕事をこなす事に精一杯でしたが、先輩方の支えにより、なんとか1年間終えることができました。

今年で2年目となり、昨年の反省と同時に改善、新しい試みを目標とし常に住民の健康と福祉の増進が図れるよう、日々努力しています。



富士河口湖町 税務課 資産税第一係
主事

倉澤 光一郎
Koichiro Kurasawa



昨年、富士河口湖町役場に採用していただきまして、今年で税務課資産税係2年目を迎えます。

業務内容は、固定資産税（土地）の賦課業務を主として、全国で初めて導入した法定外目的税である遊漁税も担当しております。

土地の賦課業務は1年を通じての長い期間であり、机上調査から実地調査を入念に行い、年度当初の課税に向けて取り組みます。また、遊漁税は、富士河口湖町遊漁税条例に基づき、河口湖漁業協同組合と連携を取り、遊漁者から遊漁税の徴収を行っています。

課税する立場として感じているのが、個々の業務の重要性です。私の調査や判断1つ1つが反映される形で、税額が決定されます。これには大きな責任を伴います。この責任を果たすために、日々の中で知識を習得し、自身の業務を顧み、実務に発展できるように努力しております。

私自身、一人前とは到底言えません。しかし、社会人としての良識を身に付け、公務員としての自覚を持ち、諸先輩方から多くのことを勉強させていただき、生まれ育った富士河口湖町に微力ながらも貢献したいと思っています。

市町村振興協会たより

市町村職員人材育成事業について

当協会では多様化する行政ニーズに的確・柔軟に対応し、解決できる市町村職員の育成を図るための人材育成事業を次のとおり行っており、今回平成30年度の研修実施状況について紹介します。

市町村自治講演会

市町村長をはじめ幹部職員並びに市町村議員を対象に、地方自治会をとりまく環境の変化に対応する地域振興の方策等について講演会を行っています。

平成31年2月5日(火)に山梨県自治会館において開催。
市町村長、市町村幹部職員、市町村議会議員等227名出席



「激動する政治・経済～日本の針路を考える～」

講師/ジャーナリスト 長谷川 幸洋氏
は せ が わ ゆ き ひ ろ

地方行財政セミナー

県下市町村が当面する行財政上の問題点や今度の課題、あるいは運営方法等についてセミナーを行っています。

平成30年7月27日(金)に山梨県自治会館において開催。
市町村職員等70名出席



「掘り起こせ！地域の宝 ～地域人材による魅力発信と次の時代のまちづくり～」

講師/地域活性化伝道師(内閣府) 藤田 とし子 氏
地 域 力 創 造 ア ド バ イ ザ ー (総 務 省) ふ じ た

市町村職員先進施策調査研修

市町村職員を対象に、社会経済情勢の変化や、住民の多様なニーズに適応した市町村行政を推進するため、先進的な行政施策を実施している市区町村を、テーマ別に調査研修を行っています。

●人事評価の実践コース(H30.11.6～7)

参加人員 4市1町1組合 計7名 オブザーバー参加(県市町村課)

◎ 岐阜県多治見市

◎ 大阪府池田市



●将来を見据えた業務効率化コース(H30.11.27～28)

参加人員 6市1町1団体 計8名 オブザーバー参加(県市町村課)

◎ 静岡県三島市

◎ 大阪府河内長野市



●福祉保健と教育一体の子育て・子ども支援コース

参加人員 4市 計8名 (H30.12.10～11)

◎ 東京都日野市

◎ 新潟県三条市



●シティプロモーションコース(H31.1.31～2.1)

参加人員 6市 計10名

◎ 千葉県流山市

◎ 栃木県那須塩原市



ハロウィンジャンボ宝くじ収益金について

新市町村振興宝くじ(通称：ハロウィンジャンボ宝くじ)の収益金は、平成13年の発売以来、その全額を市町村に交付し、市町村の明るいまちづくりや住民福祉向上のための事業に活用されております。

■販売実績及び市町村交付額

平成30年度の販売実績(全国)は前年度比28.15%増の約371億円となり、これに伴う山梨県内市町村への交付額は、166,294千円となりました。(図1)

なお、市町村への交付に当たっては、均等割40%、人口割60%の配分基準により交付をしております。※均等割は都道府県への配分に係る市町村数の算定に準じて算出

■交付金の使途

交付金の使途については、地方財政法第32条に定める事業に充てることとされており、平成30年度の県内市町村の使途については、芸術・文化振興、環境の保全・創造、少子・高齢化対策等に活用されています。(図2)

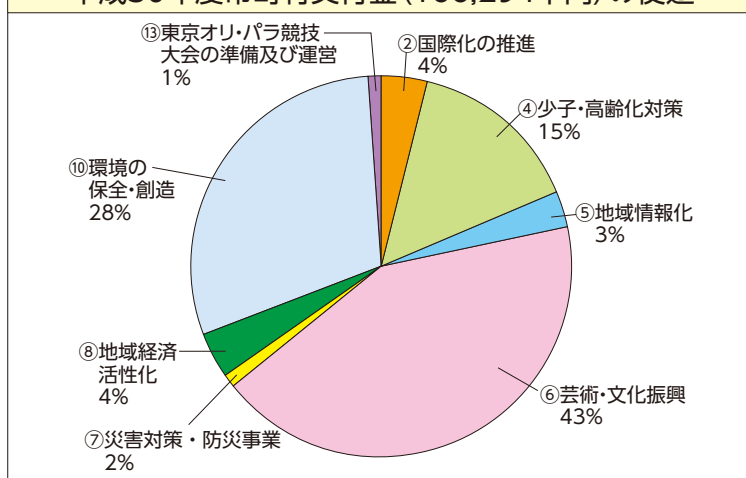
(図1)

平成30年度
ハロウィンジャンボ市町村交付額
単位：円

甲府市	25,576,000
富士吉田市	7,663,000
都留市	5,631,000
大月市	4,845,000
韮崎市	5,473,000
南アルプス市	11,998,000
甲斐市	11,618,000
笛吹市	12,997,000
北杜市	10,536,000
上野原市	5,347,000
山梨市	7,158,000
甲州市	6,743,000
中央市	6,677,000
市川三郷町	4,831,000
早川町	1,935,000
身延町	4,242,000
南部町	3,116,000
富士川町	4,210,000
昭和町	4,138,000
道志村	2,015,000
西桂町	2,326,000
忍野村	2,879,000
山中湖村	2,429,000
鳴沢村	2,156,000
富士河口湖町	5,987,000
小菅村	1,894,000
丹波山村	1,874,000
合計	166,294,000

(図2)

平成30年度市町村交付金(166,294千円)の使途



○地方財政法第32条に定める事業

- ①公共事業
- ②地域の国際化の推進に係る事業
- ③博覧会等・文化行事の運営に係る事業
- ④高齢化、少子化等施策に係る事業
- ⑤地域の情報化に係る事業
- ⑥芸術・文化の振興に係る事業
- ⑦大規模な風水害、地震、津波、火災、干害、冷害等の災害対策及びこれら災害の予防に係る事業
- ⑧地域経済の活性化に係る事業
- ⑨地域における社会貢献活動に係る事業
- ⑩地球温暖化対策、リサイクルの推進等地域における環境保全及び創造に係る事業
- ⑪地域の共通課題に対応するための調査及び研究並びに人材の育成に係る事業
- ⑫令和元年に開催されるラグビーワールドカップ大会の準備及び運営に係る事業
- ⑬令和2年に開催される東京オリンピック競技大会及び東京パラリンピック競技大会の準備及び運営に係る事業

令和元年度ハロウィンジャンボ宝くじ発売について

令和元年度は、1等前後賞合わせて5億円のハロウィンジャンボ宝くじ（発売総額240億円・8ユニット）及び1等前後賞合わせて3千万円のハロウィンジャンボミニ（発売総額120億円・4ユニット）が9月24日（火）から同時発売されます。

当協会では、市町村にとって貴重な財源でありますハロウィンジャンボ宝くじの販売額の確保に向け、市町村ホームページの有料バナー広告への掲載や新聞、ラジオ等のメディアを活用した広報、また発売期間中に開催されるヴァンフォーレ甲府戦でのPR実施等各種広報宣伝活動に努めて参りますので、市町村におかれましても、広報誌掲載、臨時宝くじ売り場設置、庁舎等電光掲示板やイベントでのPR等宝くじの広報にご支援、ご協力をお願いいたします。また、宝くじの収益金配分は県内の販売実績等に応じて交付されるため、県内の売り場でお買い求めください。

発売期間：9月24日（火）～10月18日（金）
当せん金支払期間：11月5日（火）から1年間

抽せん日：10月30日（水）

ハロウィンジャンボ宝くじ当せん金

等 級	当せん金	本数
		8ユニット
1 等	3億円	8本
1等の前後賞	1億円	16本
1等の組違い賞	10万円	792本
2 等	500万円	16本
3 等	100万円	800本
4 等	10万円	16,000本
5 等	3,000円	800,000本
6 等	300円	8,000,000本

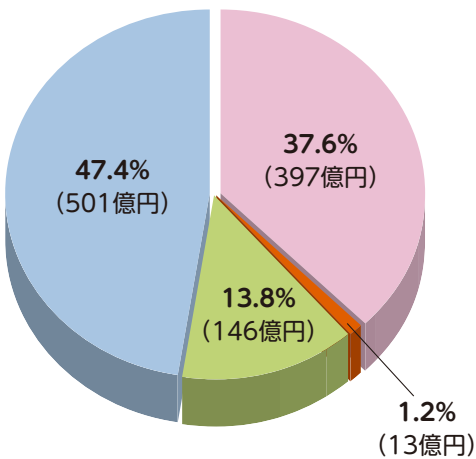
※当せん本数は発売総額240億円・8ユニットの場合

ハロウィンジャンボミニ当せん金

等 級	当せん金	本 数
		4ユニット
1 等	2,000万円	16本
1等の前後賞	500万円	32本
2 等	100万円	800本
3 等	10万円	16,000本
4 等	1万円	40,000本
5 等	3,000円	400,000本
6 等	300円	4,000,000本

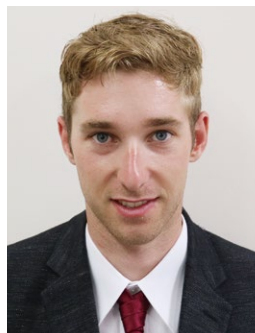
※当せん本数は発売総額120億円・4ユニットの場合

宝くじ売上の中身



- 収益金として市町村のまちづくり等に使われます
- 社会貢献広報費
- 印刷経費、売りさばき手数料など
- 当せん金として当せん者に支払われます

※発売実績1,057億円（平成30年度のサマージャンボ宝くじ（491億円）・サマージャンボミニ（195億円）・ハロウィンジャンボ宝くじ（258億円）・ハロウィンジャンボミニ（113億円）の合計）



ボシス・トムさん

BOSSIS Tom

(山中湖村 観光産業課 国際交流員)

「文武両道」の経歴を社会貢献に



私は、日本への留学と元自転車競技プロ選手のデュアルキャリアを実現できましたが、東京2020オリンピックの自転車ロードレース競技が山中湖村を通過することになったことをきっかけに、2018年7月に山中湖村へ就職することになりました。

国際交流員の仕事のほか、オリンピック競技への準備やフランス代表の事前合宿をサポートすることが主な業務ですが、オリンピックという貴重なチャンスを、村のためになる具体的なものに変えていくことが一番大事なミッションだと考えています。

このため、2019年2月に「山中湖サイクリングチーム」という組織を立ち上げ、自転車を活かしたまちづくりをスタートさせました。

地域に根ざしたトップレベル競技チームの運営、来村サイクリストの受け入れ、地域の学校での出演や自転車部の立ち上げ、自転車競技大会の開催など、様々な企画に取り組むことで、「自転車文化」を地域の新たな魅力として定着できればと、努力の日々を送っています。

AFTER NOTES

編集後記

今回の特集は、全国的に課題となっている空き家対策の取り組みについて紹介しました。

また、ハロウィンジャンボ宝くじの平成30年度の市町村交付額とその用途について紹介しましたが、市町村にとって貴重な財源となっております。今年のハロウィンジャンボ宝くじは、9月24日から発売されますが、売上増進が図られるよう、引き続きご協力をお願いします。

最後に、特集をはじめ各コーナー等本号の発行にあたり、ご多忙の中執筆いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

市町村職員情報誌「やまなし自治の風」編集委員会

役職名	団体名	補職名	氏名
委員長	山梨県市長会	次長・総務課長事務取扱	村松 広幸
副委員長	南 部 町	企画課主事補	四條 将也
委 員	大 月 市	企画財政課主任	鈴木 唯一
	上 野 原 市	政策秘書課主任	佐々木 芳
	山 梨 市	政策秘書課主事	堀内 聖斗
	甲 州 市	政策秘書課主査	風間 一志
	中 央 市	政策秘書課主査	河野 諭
	身 延 町	企画政策課主任	佐野 梨沙
	昭 和 町	企画財政課主任	渡辺 晃次
	道 志 村	ふるさと振興課主任	杉本 悠
	富士河口湖町	総務課主任	渡辺 久高
	山 梨 県	市町村課主任	中澤 敏也
	山梨県町村会	振興課副主査	大森 充

ハロウィンジャンボ

1等前後賞合わせて5億円
1等3億円、前後賞各1億円

5億円

当せんのチャンス広がる

ハロウィンジャンボ

3000万円

ミニ

1等前後賞合わせて3,000万円
1等2,000万円、前後賞各500万円

ジャンボなハロウィンで大収穫!

この宝くじの収益金は
市町村の明るいまちづくりや
環境対策、高齢化対策など
地域住民の福祉向上のために
使われます。

インターネットからも
購入できます!

宝くじ公式サイト
<https://www.takarakuji-official.jp/>

9月24日(火)

発売期間 9月24日(火)～10月18日(金) 抽せん日 10月30日(水)

同時発売

各1枚 **300円**
(公財) 山梨県市町村振興協会
2019年 新市町村振興宝くじ

宝くじは
山梨県内で
買ってね!!

ご当地クーちゃん
山梨県

ハロウィンジャンボ宝くじとハロウィンジャンボミニが、9月24日(火)から2種類同時発売されます。

この宝くじの収益金は、県内の販売実績等に応じて配分され、山梨県市町村振興協会を通じて全額市町村へ交付され、市町村の明るいまちづくりや環境対策、高齢化対策など地域住民の福祉向上のために使われます。